【KES環境レポート】

かんきょうレポート

令和5年度
金剛薬品株式会社

ごあいさつ

近年、地球温暖化の影響と思われる気候変動により、強大な台風や記録的豪雨が発生し河川氾濫、洪水被害等、甚大な災害が相次いでおります。これらの環境変化は、生態系や食料生産能力だけでなく、人間の健康や産業にも深刻な影響を及ぼす可能性があることから、人類共通の課題として認識されています。

令和5年11月にはUAEで国連気候変動枠組み条約第28回締約国会議(COP28)が開催されました。この会議で大きな焦点となったのは、パリ協定で掲げられた目標達成に向けて、世界全体の進捗状況を評価する「グローバル・ストックテイク(GST)」が初めて実施されたことです。
今回のGSTでは、パリ協定の目標達成に向けて、現在の進捗状況ではまだ隔たりがあることが明らかとなりました。これを軌道に乗せていくためには、各国が今回のGSTの成果を活かしてどのような温室効果ガスの排出削減目標を策定し、気候変動施策を実行していくかが注目されます。

当社は、「健康」をテーマに事業展開を図りお客様の満足・信頼を得て、実績を重ねてまいりましたが、同時に事業を進める中で地球環境の保全が経営の基本的重要課題と認識し、平成17年6月 KESステップ2の環境システムの認証を取得し、全社挙げて環境面の負荷低減に取り組み努力しております。
ここに当社の令和５年度の環境保全の取り組みの結果についてご報告し、みなさまのご指導を仰ぎたいと存じます。

令和７年２月
金剛薬品株式会社
代表取締役社長
米 田　篤 史

令和5年度 金剛薬品(株) スローガン
“全員参加で環境改善活動に取り組み
美しい富山の自然を守り･自然の恵みを大切にしよう！”

金剛薬品株式会社　環境宣言

基本理念

金剛薬品株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

基本方針

金剛薬品株式会社は、医薬品原料、化学薬品等取り扱い品の販売及び食品添加物・科学飼料等の製造（加工）にかかわる全ての事業活動において環境影響を低減してまいります。
そのために、夢とロマンを追求する気持ちを大切にしながら『健康』をキーワードとして次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進し、地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動にかかわる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
   なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。

2. 当社の事業活動にかかわる環境関連法規、県･市条例、その他要求事項を順守します。

3. 当社の事業活動にかかわる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
   （1）電力消費量管理及びデマンド管理
   （2）自動車燃料の削減・燃料効率の向上
   （3）紙の使用量の抑制
   （4）3R 推進による廃棄物の削減
   （5）化学物質の取り扱い・安全管理の徹底
   （6）グリーン調達の推進
   （7）会社周辺の環境美化等社会貢献

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知徹底するとともに、社外へも開示します。

5.「富山市まちの環境美化条例」に基づく地域の環境美化活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

制定日　平成16年12月17日
改訂日　平成28年　1月18日

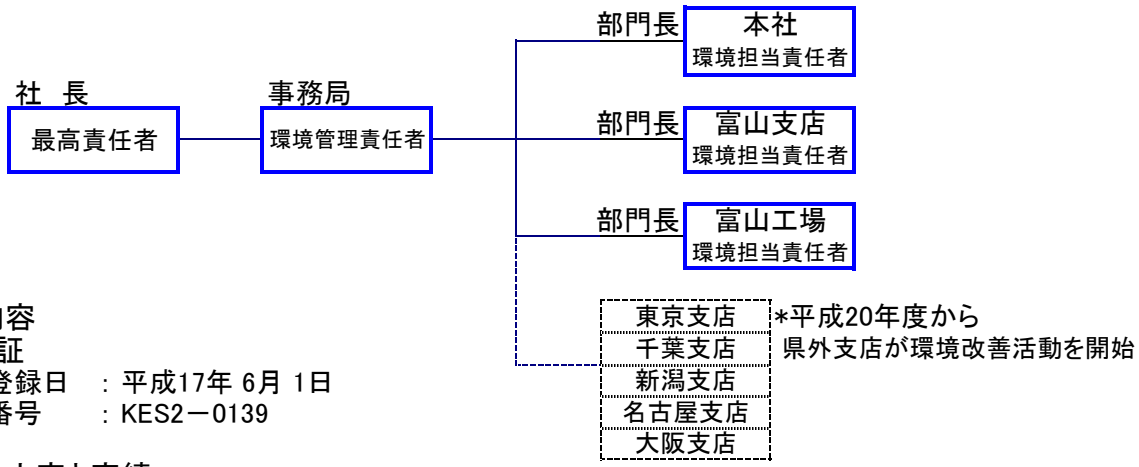
金剛薬品株式会社

■会社概要

会社名	:金剛薬品株式会社
所在地　本社＆支店	:富山市問屋町1丁目8番7号
富山工場	:富山市荒川1丁目1番90号
事業内容	:医薬品原料・工業薬品・科学飼料・食品添加物・試薬その他の卸、食品添加物、科学飼料の製造
代表取締役社長	:米田 篤史
資本金	:3億5千万円
従業員数（富山区）	:66名（内 本社・富山支店; 51名、富山工場; 15名 パート含む）・・・県外支店別途
敷地面積	:15,393㎡（内 本社・富山支店: 11,952㎡、富山工場: 3,441㎡）
延床面積	: 5,564㎡（内 本社・富山支店: 3,918㎡、富山工場: 1,646㎡）
沿革	:昭和21年 2月設立・創業開始

Ⅰ. 環境活動の取り組み体制

※平成21年度、各部門に環境担当責任者選任



Ⅱ. 認証取得内容

KES登録証

初回登録日　：平成17年 6月 1日

登録番号　　：KES2－0139

Ⅲ. 環境活動の内容と実績

■令和5年度環境改善活動実績

環境改善目標	具 体 的 方 策	活動実績値 削減量＝目標値−R05 削減率＝(目標値-R05) / 目標値	KES導入効果 削減量＝H16− R05 削減率＝(H16-R05) / H16
1. 電力使用量の維持・削減 ・目標値 本・支 基準年度比120%以下 工場　基準年度比106%以下	1. デマンド監視によるピーク電力の抑制 2. 空調温度設定遵守(暖房20℃、冷房28℃) 3. エコ照明(LED照明器等)への切り替え 4. 省エネ空調への切り替え 5. 待機電力の低減(プラグ・タップ切)	・目標達成 削減量　13,597 [KWH] 削減率　5.7% *具体的方策特に1,2による 評価 [A]	H16:　226,187[KWH] R05:　224,580[KWH] ・削減量 1,607[KWH] ・削減率 0.7%
2. 自動車用燃料走行効率のアップ ・燃費効率(主項) 目標値　13.5km／L以上 ・使用量(従項) ・目標値 本社 基準年度比105%以下 支店　基準年度比104%以下	1. エコドライブによる車両燃費向上 ・ふんわりスタート、アイドリングストップの実行 ・急発進、急停車、暖機運転の禁止 2. エコカーの導入推進	・目標未達成 増加量　−0.2km/L 増加率　−2.3% *エコカー導入により改善 削減量　−688[L] 削減率　−6.1% 評価 [B]	H16:　記録なし R05:　13.3[km/L] H16:　26,130[L] R05:　11,920[L] ・削減量 14,210[L] ・削減率　54.3%
3. コピー用紙使用枚数抑制 ・目標値 本社:基準年度比110%以下 支店:基準年度比104.5%以下 工場:基準年度比105%以下	1. 両面コピー・裏紙使用等による削減 2. 2原紙⇒1コピー、2ｱｯﾌﾟ等ﾑﾀﾞ排除による コピー枚数・回数減 3. 受注関連書のペーパーレス化の検討	・目標達成 削減量　24,020[枚] 削減率　8.3% *ﾄﾞｷｭﾜｰｸｽの使用等により使用量抑制できた 評価 [A]	H16:　483,238[枚] R05:　263,105[枚] ・削減量220,133[枚] ・削減率 45.5%
4. 産業廃棄物の削減 ・目標値 本社・支店:基準年度比98%以下 工場:基準年度比97%以下	1. 産廃物分別の徹底 2. 廃棄物の見直しによる3Rの推進 3. 顧客との連携による3Rの推進	・目標達成 削減量　1,764[kg] 削減率　23.5% ・木製ﾊﾟﾚｯﾄの不良が出ないよう頻繁に返却 評価 [A]	H16:　44,740[kg] R05:　5,759[kg] ・削減量38,981[kg] ・削減率 87.1%
5. 化学物質の安全管理 ・化学設備点検　24回／年 ・製造設備点検　84回／年	1. 化学品取扱設備点検・整備 2. 工場製造関連施設の保守点検 3. 化学品緊急時想定訓練 4. HHKカード摘出と対策	・目標値: 24、84回/年 ・実績値: 24、84回/年 *目標達成 評価 [A]	—
6. グリーン調達の推進 ・目標値 調達率 90%以上	1. エコ商品・グリーン商品等の対象商品の拡大 ・事務用品・雑貨品(詰替え品含む) ・OA機器、電気製品、照明器具及び低公害・エコ車両など	・全購入品目 :269[品] 内Gr品目:249[品] ・調達率　92.5% *目標達成 評価 [A]	—
7. 社会貢献活動推進 ・会社周辺美化活動 年間 5回 *冬期除く	1. 会社周辺美化運動 2. ノーマイカーの積極参加 3. 県・市・経済同友会等の環境活動参加 4. 環境関連講習会参加	・活動回数 5回/年 ・達成率100%以上 評価 [A]	—

評価記号 : [A] 良好…目標達成」 [B]… やや不足(前年並み) [C]…未達成

基準年度は、令和2年

Ⅳ. 令和5年度 具体的環境活動の紹介及び評価

・令和5年度の環境改善目標は前年同様全7項目を設定し活動を推進しました。
・数値目標の継続活動である4項目（電力・自動車用燃料・事務用紙・産廃物）のうち電力使用量については天候による悪影響はあったが、コロナ対策が落ち着いたこともあり目標達成しました。燃費目標については、プリウスの低稼働もあり、燃費目標は未達となりました。
また、コピー用紙使用枚数抑制については、裏紙使用、DWの活用により目標を達成することができました。
・産廃については、分別して排出したり、ﾘｻｲｸﾙへ回したりと工夫をしました。また使用しない木製ﾊﾟﾚｯﾄが増えていかないよう、小まめに運送業者へ返却したため削減することができました。
・富山支店での回収試薬ﾋﾞﾝが、売り上げに伴い増加したことが大きな産廃増加の原因だったのですが、全量が排出先にて園芸用軽石にﾘｻｲｸﾙされており、令和1年より産廃に含まないこととしています。

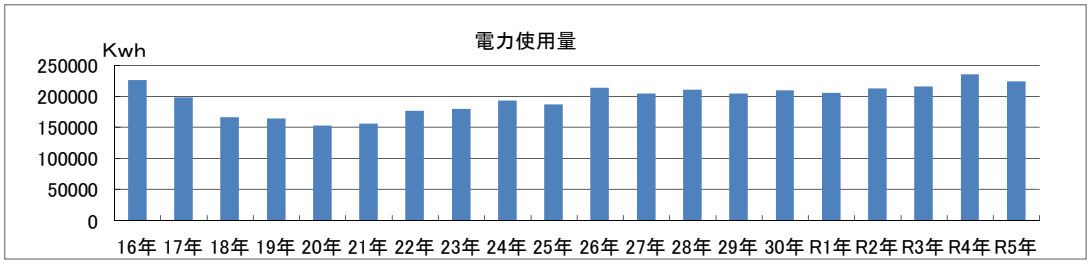
【具体的活動ポイント】

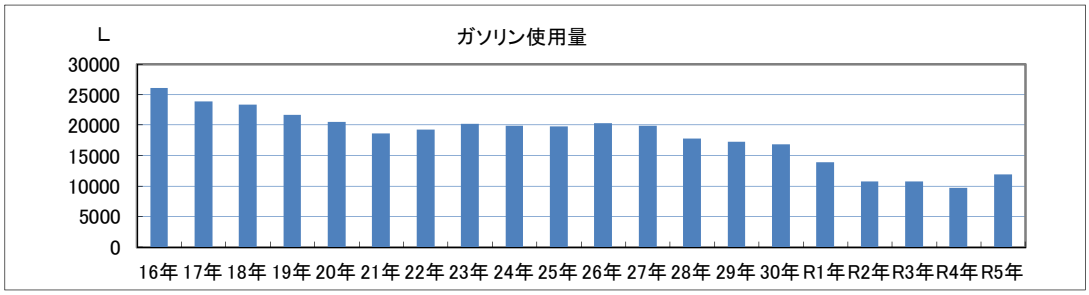
1. 【電力使用量】前年同様に夏の猛暑の影響があったものの、ｺﾛﾅ対策として行っていた換気が減ったことで空調のロスもなくなり、目標を達成することができました。
2. 【燃費効率】ｴｺｶｰ導入に並行して、ふんわりｱｸｾﾙやｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟを遂行しましたが、ｺﾛﾅｳｲﾙｽの影響による営業ｽﾀｲﾙの変化が定着した為、目標13.5km/Lに対して、13.3km/Lと、今一歩目標値に届きませんでした。ｶﾞｿﾘﾝ使用量も目標の11,232Lに対して11,920Lと超過となっています。
3. 【コピー用紙】ドキュワークスソフトも、各自がしっかりと活用できるようになった状況下では大掛かりな方策が出てきていない状況です。また、工場での生産に関しては、管理上、書面を作成する量がどうしても増えていく傾向にあります。しかしながら、徹底して無駄を排除していき目標達成しました。
4. 【廃棄物削減】：分別の徹底及び、木パレットの木くずとしての排出を減らすため、入荷時のﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊﾟﾚｯﾄへの積み替え、運送会社への小まめな返却などにより、削減を図ることができました。
5. 化学物質の安全管理：危険物及び化学品倉庫等の設備点検・3Sが徹底され、更に意識高揚が図られました。
6. グリーン調達については、発注担当者がグリーン購入法適合品（エコマーク商品等）、その他環境配慮商品の購入推進に努めることにより、昨年同様に高達成率で目標を上回りました。
7. 社会貢献活動では、全社一丸となって会社周辺の清掃等の活動を実施しました。
またノーマイカーウイークは、コロナウイルス感染予防のため昨年より見合わせていますが、時期を見て再開していく予定です。

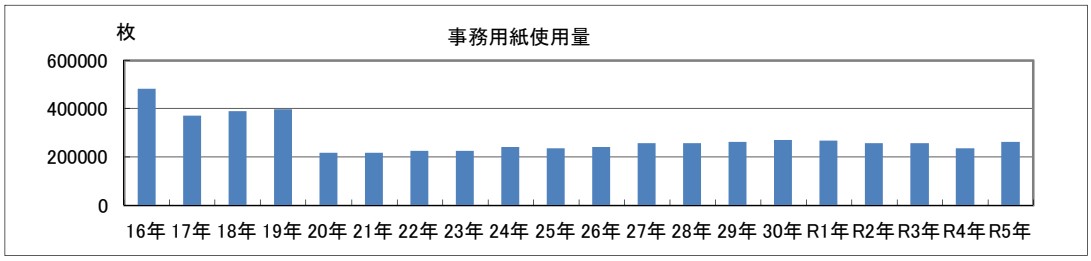
【KES導入効果】

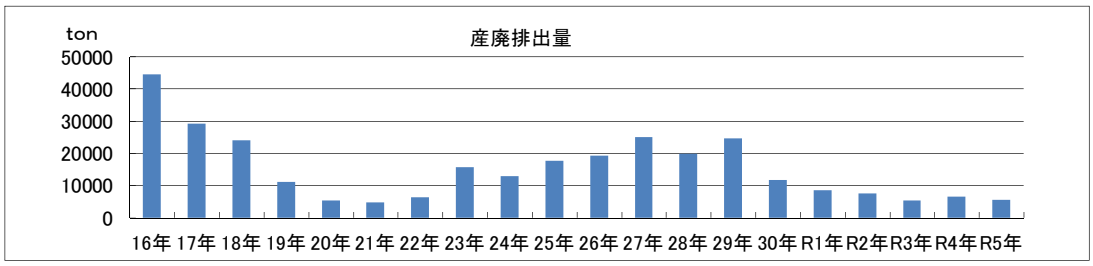
（1）KESステップ2の認証登録を受け18年が経過し、全社員が各部門の環境改善活動目標達成のために積極的に取り組むようになり、用紙や電気の使用においても「節約ぐせ」がついてきたようです。
（2）その結果、下記グラフの通り大幅に環境負荷を低減することが出来ました。
さらには、社員全員で環境へ配慮し行動していくという社風ができつつあると感じています。

【平成16年～令和5年の各項目推移グラフ】









Ⅴ. 環境関連法規の順守状況

・当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、確実に順守しています。
・また、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はありませんでした。

Ⅵ. 令和5年度環境改善活動及びその他の取り組みについて

【環境改善活動】

1. 令和5年度は環境影響評価の結果に基づき、以下の7項目を継続して環境改善目標としました。
   (1)電力消費量の削減及びデマンド管理
   (2)ガソリン使用量の削減・燃費効率の向上
   (3)事務用紙使用量の抑制
   (4)3R推進による産廃物の削減
   (5)化学物質の取り扱い・安全管理の徹底
   (6)グリーン調達の推進
   (7)会社周辺の環境美化等社会貢献
2. 各目標とも継続活動項目ですが、特に削減4項目(電力・燃費効率・事務用紙・産廃)については従来通りの目標設定では実情に合わなくなってきたため、3年間の中期目標を令和2年から設定し、さらにそこから各年度の目標を設け、パフォーマンスに重点を置きながら環境活動に取り組んでいます。
   (1)電力:デマンド管理は従来施策の継続。設備増に伴う使用量アップの抑制施策検討し、エコ照明 省エネ空調の導入を計画しております。又、各系統の個別電気使用量測定を試みたいと思います。
   (2)燃費効率:エコドライブ・運行経路の効率化・エコカーの更なる導入等推進し、燃費向上を目指します。 また、使用量把握は従目的項として引き続き取り組みます。
   (3)事務用紙:DocuWorksの活用・受注書等の電子ファイル化による更なるペーパーレス化を目指します。
   (4)産廃:特に支店の木ﾊﾟﾚｯﾄの3R推進、工場製造歩留まり向上による残さ低減を推進していきます。

【その他の取り組み】

1. エコ商品、グリーン商品の拡大に努め、会社周辺の美化活動(下写真)の活発化を図ります。
2. 富山県・富山市・富山経済同友会が開催する地球温暖化防止等の環境改善活動にこれからも継続して参加します。例えば『エコドライブ宣言事業所』『ノーマイカーデー(自社活動含む)』等への積極的参加。
3. 温暖化原因物質であるCO_2削減に向け植樹活動(下写真)は更に推進していきます。

【会社周辺美化活動・除草と清掃】

【会社周辺植樹緑化・通路脇バラ並木】

4. 今後も当社の環境改善活動について、**『かんきょうレポート』にまとめ当社やKES環境機構等のホームページにて公表してまいります。**(URL: http://www.kongo.co.jp)

Ⅶ. 第三者の証明・ご意見

1. 審査機関の証明

今年5月1日に金剛薬品(株)様の更新審査をさせていただきましたが、本レポートに記載されている内容のとおりであることを確認するとともに、審査報告書では総合評価として「KESの規格要求事項に適合していること。引き続きKESマネジメントシステムが運用、維持・管理されていること。環境改善活動を幅広くかつ熱心に取り組まれているとともに活動の成果も上げられていることを評価する。」とコメントしました。

平成17年6月にKESマネジメントシステムステップ2に登録されて以来、長きに亘りKESマネジメントシステムを事業活動に採り入れて、電力や自動車燃料の消費等の低減、資源の有効活用、化学物質の安全管理をはじめ様々な環境保全活動に取り組まれているとともに、活動結果を「かんきょうレポート」として作成し公表されていることは大変素晴らしいことであり評価されます。

日本をはじめ世界では今地球温暖化を防止するため、特に二酸化炭素の排出を削減する脱炭素社会(2050年カーボンニュートラル)の実現に向けた取り組みが進められています。また、企業を取り巻く経営環境においては電気料金やガソリン等燃料価格が高騰し経営に大きな影響を及ぼしていることからも、引き続きKESマネジメント活動の有効活用を図り環境負荷の低減、環境保全活動を通じて金剛薬品(株)様の経営課題の解決、企業価値の向上に繋げていただけることを期待します。

令和6年10月4日
KES北陸環境機構
主幹審査員　中里　茂

2. コミュニケーション(利害関係者の感想)

令和5年度の環境活動について7項目の目標に対する活動実績は、社員一人一人が高い目標意識のもと取り組まれた成果であり、特に気候変動やコロナの影響の中での努力は大いなる評価に値するものです。引き続き、全員参加で取り組み成果を出していただきたく期待しております。

令和6年9月27日
(協)富山問屋センター
理事事務局長　西嶋寛